

夏季特別フォーラム発表資料 [国語総合]

岐阜農林高等学校 国語科

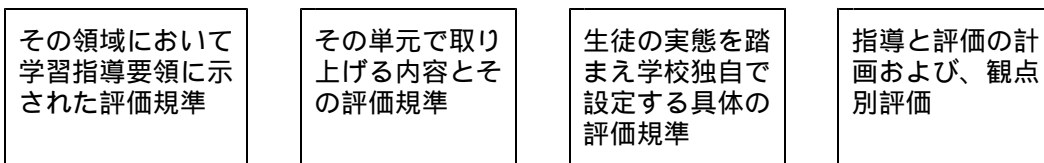
1、評価規準を盛り込んだ学習指導計画について

(1) 評価規準を盛り込んだ年間学習指導計画表作成上の留意点

- * ひとつひとつの単元を各領域(「話す・聞く能力」「書く能力」「読む能力」の3領域)のうちどの領域の学習であるかを明確にすること。
- * それぞれの単元がどの領域の学習であるかを分類する際には、「話す・聞く能力(10%)」「書く能力(20%)」「読む能力(70%)」という時間数の比重配分に留意すること。
- * 教材の配分については「現代文(2)」:「古文(1)」:「漢文(1)」という教材バランスを守ること。

(2) 単元における指導と評価の計画

《作成手順》



2、指導と評価に関わる取り組みの事例

(1) 1学期に実践した単元とその領域

「国語総合」における「指導と評価」を盛り込んだ年間指導計画に基づき、1学期では以下の単元教材を実践した。(1年生7クラス、担当者2名)

- ・「スピーチ」 (話す・聞く能力)
- ・「生命は(随筆)」 (読む能力)
- ・「蟻と鳩・児の空寝(古典学習)」 (読む能力)
- ・「意見文を書く」 (書く能力)
- ・「岳物語(小説)」 (読む能力)

(2) 授業実践から

*工夫した点

- ・各時間の目標を出来るだけシンプルに絞り込んで、生徒にも示し、評価しやすくした。
- ・「書く能力」の育成を目的とした単元では、「意見文の書き方」として、新聞投書に挑戦ということを試みた。何人もの生徒が実際に投書を希望するようになり、反応はまずまずであった。しかし、あまりにも人数が多すぎるため、指導の過程では細かなアドバイスが出来なかったのが非常に残念である。
- ・「聞く・話す能力」の育成を目標とした単元では、スピーチ原稿の作成とスピーチ発表のほかに、聞くことの評価の一端として相互評価をつけさせ、クラスのベスト3の投票を試みた。上位5名を発表すると、生徒は喜んだり、納得したりして意欲・関心を示した。その場で選ばれた理由について具体的に検証することで、スピーチのポイントが再確認でき、とても効果的であった。

*困った点・苦労した点

- ・提出物が大量となり、いつも評価に追われることとなった。課題や評価の簡素化など、評価のしやすい課題の出し方や提出の仕方について研究する必要性を痛感した。
- ・観察による評価は40人という人数を各時間ごとに観察し、記録することは不可能である。そこで、時間ごとに何人かずつを観察することになるが、時間ごとにやる内容が異なるため、観察評価にハンデが生じるということの無いように留意しなければならない。普段の授業時とは異なる反応を見過ごさないような配慮が必要である。

* 生徒の様子・変化について

- ・提出物が従来に比して、多種多様になりはしたが、各時間ごとに取り組むべきポイントが解って、生徒一人一人の意欲的に取り組む姿勢が顕著となり、従来よりもさらに緊張感をもって授業に臨むようになってきたと感じた。
- ・生来、引っ込み思案で、人前に出ると非常に緊張する生徒が、スピーチや意見文の発表を通して、堂々とクラス全員の前で発表することができた。（とはいえ、顔面は蒼白に近く、声も足もふるえがちではあったが...）本人はまとめの感想にとても良い経験ができたと述べていた。さらに、意見文では自ら新聞に投書したいという強い希望を主張してきた。これは「話す・聞く能力」「書く能力」といった領域を授業に取り入れたことに対する一つの成果であると思う。
- ・スピーチ学習では仲間の発表から色々なスピーチにおけるポイントを発見し、互いに学び合うことが出来た。多くの生徒が次の機会に生かしていきたいと述べていた。

3、評価から評定へ（評定への換算方法：試案）

- ・本校にマッチするように独自の評価規準を設定し、各観点別領域ごとの割合を協議して以下のように設定した。

観点	関心・意欲 ・態度	話す・聞く 能力	書く能力	読む能力	知識・理解	定期考査	合計
割合	10%	10%	10%	10%	10%	50%	100%
備考							

* 備考：主な評価方法

- ノート・授業プリント提出 目標を明確にした課題・観察
- スピーチ 2分間スピーチ発表・作成原稿・スピーチのポイント・相互評価表・観察
- 投書 資料収集・構成理解・下書き原稿・推敲学習・完成原稿・清書の過程・観察
- 随筆等 各単元のまとめ（感想・学んだこと等）
- 小テスト 漢字、単語等の確認テスト
- 定期考査 読む能力を中心に知識・理解および書く能力の3観点に配分して出題

* 1学期の実施単元の時間数を勘案して、観点ごとの比重配分をした。

* 各単元ごと、上記のように提出物等を各観点に読み替え、定期考査は中間考査25%・期末考査25%として、算出した。

4、観点別評価規準を設定した授業を実施して

- ・提出させた内容をどのように評価するかについては、慣れの問題もあるが、どのような内容をどのように評価し、どのように評定に結びつけるかについて、すごく苦しんだ。（評価規準は設定してあるにもかかわらず、評価の段階で悩み込んでしまった）課題や評価の簡素化など、ポイントを絞り込んだ観点別評価の手立てなどは十分に検討しておくべきである。
- ・生徒が内容に引きつけられてしまい、授業の目標や意図と違った方向へ流れてしまい、困惑することがあった。そのおかげで、指導方法の改善点を発見することが出来、次へと生かしていくことが従来の授業形態よりも容易に出来るようになった。
- ・観点別評価を課題ごとに出していくためには、こまめな目標設定と評価の判断基準が必要となってくる。評価する方法もスピードも重要であり、日頃の授業実践の中で、生徒も教師も鍛えられるというのが実感である。各時間ごとに明確な目標をもって課題を設定し、ポイントを押さえていくことが肝要で、これは日々教材研究を深めていくことに他ならない。今回の実践例で言えば、スピーチで押さえないといけないポイントについて、かつて授業で取り扱ったときよりも的確に指摘することが出来たように思う。

平成 15 年度 年間指導計画表 (1 学期分)

教科名	国語	単位数	3	学年・学級	1 年全	生徒数	280 人	指導者	
科目名	国語総合								

学習指導要領の目標	国語を適切に表現し、的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。
-----------	--

本校の科目指導目標	A 領域：他者の話を正しく聞き取ったり、自分の考えを積極的に話したりできる力を身に付けさせる。 B 領域：必要な材料を集めたり調べたりし、自分の意見を論理的に文章表現できる力を身に付けさせる。 C 領域：基礎学力の定着を図り、読み取る力や多様なものの見方・考え方を理解し、視野を広げる力を身に付けさせる。
-----------	--

月	単元名(時数) 教材名	単元の目標	評価(a:関心・意欲・態度 b:話す・聞く能力 c:書く能力 d:読む能力 e:知識・理解)	
			評価規準	評価方法
4	随筆(5) 『生命は』	・文章を読んで、様々なものの見方・考え方を知る。 ・文脈に沿って、書き手の考えを正しく捉えることができる。 ・新しい語句の意味や漢字の読み書きを知る。	a文章を読んで、様々なものの見方・考え方を知らうとしている。 d文脈を考えながら、書き手の考えなどを正しく捉えている。 e語句の意味や基本的漢字の使い方を理解している。	観察 ノート
	評論(4) 『らしさ』	・論理的な文章を読み、表現の意図を捉えることができる。 ・文脈や語句の意味を捉え、筆者の考えを理解する。 ・文の成り立ちや構成について理解する。	a文章を読んで、表現の意図を捉えようとしている。 d文脈を考えながら、語句や表現に注意して筆者の考えを正しく捉えている。 e主語・述語などの順序や相互の関係について理解している。	観察 ノート
5	表現 スピーチ(4) 『スピーチしよう』	・目的・場に応じたわかりやすいスピーチをする。 ・聞き手の関心を引きつけるような話し方・表情に気をつける。 ・相手のスピーチ内容を的確に聞き取る。	a目的や場に応じたわかりやすいスピーチをしようとしている。 b聞き手の関心を引く話し方をし、相手の話も的確に聞き取っている。 e目的や場に応じた話し方および言葉遣いについて理解している。	観察 相互評価表
	古文入門(6) 『伊曾保物語』 『児のそら寝』	・古文に関心を持ち、すすんで読み味わう。 ・古文の内容を理解し、表現された情景を的確に捉える。 ・文語のきまりや特色を理解する。	a古文に関心を持ち、積極的に読み味わおうとしている。 d文章に描かれた情景を的確に捉え理解している。 e歴史的仮名遣いやいろは歌について、正しく理解している。	観察 ペーパー テスト
	小説(6) 『岳物語』	・現代小説を積極的に読み味わう。 ・描かれている人物や人間関係を文章から読み取る。 ・文の成り立ちや構成について理解する。	a現代小説に触れ、積極的に読み味わおうとしている。 d描かれている人物や人物相互の関係を捉え、理解している。 e主語・述語・修飾語などの順序や照応関係について理解している。	観察 ノート
6	表現 調べること・発表すること(6) 『意見文を書く』	・情報を収集・活用しながら筋道を立てて効果的にまとめる。 ・意見文の文章構成を理解し、表現力を身に付ける。 ・社会問題を積極的に捉え、それを意見としてまとめるようにする。	a身近なところにテーマを見つけ、意欲的に材料集めをしている。 c論理的な構成を工夫して文章にまとめている。 e段落分け・構成等効果的な表現の仕方を理解している。	観察 ワークシート 自己評価表

*指導要領 指導事項

- A 話すこと・聞くこと
- ア 様々な問題について自分の考えを持ち、筋道を立てて意見を述べること。
 - イ 目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりすること。
 - ウ 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重して話し合うこと。
- B 書くこと
- ア 相手や目的に応じて題材を選び、効果的な表現を考えて書くこと。
 - イ 論理的な構成を工夫して、自分の考えを文章にまとめること。
 - ウ 優れた表現に接してその条件を考え、自分の表現に役立てること。
- C 読むこと
- ア 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約したりすること。
 - イ 文章を読んで、構成を確かめたり表現の特色をとらえたりすること。
 - ウ 文章に描かれた人物・情景・心情などを表現に即して読み味わうこと。
 - エ 様々な文章を読んで、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりすること。

学習活動 (指導内容)	指導要領*		教材	図書・マルチ室 等の利用
	指導事項	言語活動例		
文章を音読して読みの確認をし、語句の意味を調べる。 段落ごとに筆者の考えを読みとり、説明する。 本文との関係を考え、詩の意味するところを捉える。	Cアイ	(4)エ(ア)	『生命は』	
文章を音読して読みの確認をし、語句の意味を調べる。 文章の流れをとらえ、筆者の主張を考える。 筆者の主張に対する自分の意見をまとめる。	Cアイ	(4)エ(ア) (ウ)	『らしさ』	
テーマと自分の主張内容とが一致しているかを検討する。 データや例示などを具体的に入れて原稿にする。 聞き手の関心を引きつけるような話し方を工夫する。	Aイ	(2)ウ(ア)	「スピーチをしよう」	
繰り返し音読する中で、現代文との違いに気づく。 歴史的仮名遣いを学習する。 古語の意味を調べ、文の内容を知る。	Cア	(4)イ(ア)	『伊普保物語』 『児のそら寝』	
文章を音読して読みの確認をし、語句の意味を調べる。 場面ごとに登場人物の心情の変化を追う。 文章の主題を捉え、自分の考えをもつ。	Cアイ	(4)ウエ(ア)	『岳物語』	
情報収集をして、自分自身のテーマを選定する。 テーマに従って収集した情報を取捨選択し、読み手に伝えるために効果的な文章構成を工夫する。 推敲の仕方を学び、筋道を立てた文章を完成する。	Bイ	(3)イ(ア)	『意見文を書く』	情報収集 (図書館)

*** 指導要領 言語活動例**

- (2)イ 話をよく聞き取る能力や態度を身に付けさせること。
ウ(ア) 話題を選んで、スピーチや説明などを行うこと。
(イ) 情報を収集し活用して、報告や発表などを行うこと。
(ウ) 課題について調べたり考えたりしたことを基にして、話し合いや討論などを行うこと。
- (3)イ(ア) 題材を選んで考えをまとめ、書く順序を工夫して説明や意見などを書くこと。
(イ) 相手や目的に応じて適切な語句を用い、手紙や通知などを書くこと。
(ウ) 本を読んでその紹介を書いたり、課題について収集した情報を整理して記録や報告などを書いたりすること。
- (4)イ 文章を読み深めるため、音読や朗読などを取り入れること。
ウ 読書力を伸ばし、読書の習慣を養うこと。
エ(ア) 文章に表れたものの見方や考え方などを読み取り、それらについて話し合うこと。
(イ) 考えを深めるため、様々な古典や現代の文章を読み比べること。
(ウ) 課題に応じて必要な情報を読み取り、まとめて発表すること。

学年 1年

科目 国語総合

評価規準表

1 科目の目標 (学習指導要領)

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

2 評価の観点の趣旨からみた科目の目標 (学習指導要領)

関心・意欲・態度	a	国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したり理解したりするとともに、伝え合おうとする。
話す・聞く能力	b	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりする。
書く能力	c	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書く。
読む能力	d	自分の考えを深めたり発展させたりしながら、目的に応じて様々な文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりする。
知識・理解	e	表現と理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身に付けている。

3 内容のまとめ「B 書くこと」の評価規準

観 点 別 評 価 規 準		
a 関心・意欲・態度	c 書く能力	e 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・相手や目的に応じて題材を選び、自分の考えを文章にまとめて、効果的な表現を考えて書こうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手や目的に応じて題材を選んでいる。 ・相手や目的に応じて効果的な表現を考えて、書いている。 ・論理的な構成を工夫して、自分の考えを文章にまとめている。 ・書くのに役立てるために、優れた表現に接してその条件を考えている。 ・優れた表現を自分の表現に役立てている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記などを理解し、語彙を豊かにしている。 ・主な常用漢字を書いている。 ・国語の成り立ちや特質、言語の役割などを理解している。

【 「B 書くこと」 学習指導要領の内容 】

- ア 相手や目的に応じて題材を選び、効果的な表現を考えて書くこと。
 イ 論理的な構成を工夫して、自分の考えを文章にまとめること。
 ウ 優れた表現に接してその条件を考え、自分の表現に役立てること。

【 内容の取り扱い(3)イ言語活動 】

- (ア) 題材を選んで考えをまとめ、書く順序を工夫して説明や意見などを書くこと。
 (イ) 相手や目的に応じて適切な語句を用い、手紙や通知などを書くこと。
 (ウ) 本を読んでその紹介を書いたり、課題について収集した情報を整理して記録や報告などを書いたりすること。

4 指導と評価の実際

指導と評価の計画

単元名 「調べること・発表すること」 投書に挑戦しよう - 意見文を書く - (全6時間)		
到達目標 ア 自分自身の視点からテーマを設定して情報を収集し、効果的な表現を考えて書こうとすること。 (関心・意欲・態度) イ 論理的な構成を工夫して、自分の考えを文章にまとめること。 (書く能力) ウ 投書原稿の特徴をとらえ、自分の表現に役立てること。 (知識・理解)		
言語活動 (ア) 題材を選んで考えをまとめ、書く順序を工夫して説明や意見などを書くこと。		
単元の評価規準 (本校のこの単元で取り上げる評価規準)		
a 関心・意欲・態度	c 書く能力	e 知識・理解
自分自身の視点でテーマを見つけ、意欲的に材料集めをしている。 選んだ材料を用いて、効果的な表現を考えて書こうとしている。	的確に題材を選び材料を収集し、取捨選択して用いている。 書くのに役立てるために投書例文推敲例文について、その条件をの考えている。 テーマに従って論理的な構成を工夫して文章にまとめている。	基礎的な表記の仕方について確実に身に付けている。 段落分け・構成等効果的な表現仕方を理解している。

指導と評価の計画 (各時間の構成)

時間	各時間の目標	主な学習活動	各時間の具体的評価規準	評価方法等
1	<ul style="list-style-type: none"> 新聞の紙面構成を理解し、投書テーマをみつける。 	<ul style="list-style-type: none"> 説明を聞き、新聞記事や新聞の構成を理解する。 新聞を持ち寄り、その記事から興味・関心のある記事をピックアップし、テーマを探す。 	関 新聞の構成や名称を意欲的に知ろうとしている。 関 新聞記事を積極的に読もうとしている。 関 自分自身の視点でテーマを見付けようとしている。	観察 観察 課題プリント
2	<ul style="list-style-type: none"> テーマの選び方を考え、意見文の構成を理解して、投書原稿作成のポイントを身に付ける 教育用コンテンツ利用	<ul style="list-style-type: none"> 投書欄を見て、そのテーマの選び方を考察する。 投書例文の構成を理解する。 自分自身のテーマを選定する。 	関 自分自身の視点からテーマを見付けようとしている。 書 書くのに役立てるために投書例文についてその条件を考えている。 知 段落分け・構成等、効果的な表現の仕方を理解している。	課題プリント 観察
3	<ul style="list-style-type: none"> 自分の主張が裏付けられるよう、テーマに沿って情報収集をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館で情報収集をする。 本・新聞記事 インターネット等 	関 自分自身の視点でテーマを設定し、意欲的に材料集めをしている。	観察 資料カード
4	<ul style="list-style-type: none"> 収集した情報を整理し、投書原稿の構成を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 収集した情報を整理し、取捨選択して、筋道を立てて構成を考える。 	書 的確に題材を選び、材料を取捨選択して用いている。 書 テーマに従って論理的な構成を工夫している。 (主張の明確さ・論点の整理) 知 段落分け・構成等、効果的な表現の仕方を理解している。	観察 構成メモ
5	<ul style="list-style-type: none"> 構成メモをもとに投書原稿を書き上げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 構成メモに従って表現を工夫して文章にする。 	関 選んだ材料を用いて、効果的な表現を考えて書こうとしている 書 テーマに従って論理的な構成を工夫して文章にまとめている。 知 段落分け・構成等、効果的な表現の仕方を理解している	観察 作成原稿
6	<ul style="list-style-type: none"> 推敲の仕方を学び自分の原稿を完成する。 教育用コンテンツ利用	<ul style="list-style-type: none"> マルチメディアボードを使って推敲の練習をする。 自分の投書原稿を推敲し、完成する。 	書 書くのに役立てるために推敲例文についてその条件を考えている。 書 テーマに従って論理的な構成を工夫して文章にまとめている。 知 基礎的な表記の仕方について確実に身に付けている。	課題プリント 観察 完成原稿

* 利用した教育用コンテンツは「岐阜県まるごと学園」の中の「意見文」